

Ⅲ. ピア養成研修ワーキンググループ 報告

ピア養成研修ワーキンググループ長 秋月 伸哉
がん感染症センター 東京都立駒込病院 精神腫瘍科・メンタルクリニック 部長

A. 目的

本WGの目的は、すべての都道府県で継続的に行え、実際の活動につなげることができるピア・サポーター養成プログラムを開発、実装することである。2018 年度にピア・サポーター研修プログラム、並びにピア・サポーター養成テキストを作成し、パイロット版の研修を実施、2019 年度はピア・サポーター養成テキストの改訂、ピア・サポーター養成研修会運営マニュアルを作成しプログラムに基づくピア・サポーター養成研修会を実施、2020 年度はコロナ流行の状況に合わせ対面研修の時間を短縮できるよう講義動画の作成、短縮版ピア・サポーター養成研修会を開発し、フォローアップ研修プログラムの提言を作成、2021 年はオンライン版ピア・サポーター養成研修会開催マニュアルを作成、またフォローアップ研修プログラムを作成した。2019 年度より各都道府県の要請に応じて研修会の開催を支援し実施している。

今年度は前年度の活動に引き続き、1. 都道府県でのピア・サポート活動支援、2. 都道府県でのピア・サポーター養成研修開催支援、3. 都道府県でのフォローアップ研修開催支援に加え、都道府県の第4期がん対策推進計画の実施に伴うピア・サポーター養成研修会の実施回数の増加に対応するため、4. ピア・サポーター養成研修協力メンバーの創設、5. フォローアップ研修開催マニュアルの開発、6. ピア・サポーター養成研修スライドの改訂を行った。

B. 経過

1. 都道府県でのピア・サポート活動支援

昨年度に続き、各都道府県からピア・サポート活動支援の要請がなかった。

2. 都道府県でのピア・サポーター養成研修開催支援

15都府県からの協力要請があり、プログラムの提供、開催支援を行った (p. 12 表 3)。

3. 都道府県でのフォローアップ研修開催支援

これまでに養成されたピア・サポーターへのフォローアップ研修開催支援に4県から協力要請があり、各地の実情に応じたプログラムの提供、開催支援を行った (p. 15 表 4)。

4. ピア・サポーター養成研修協力メンバーの創設

昨年度、各都道府県で策定された第4期がん対策推進基本計画にもとづき多くの都道府県でピア・サポーター養成研修が計画された。これまで当WGメンバーで研修支援を行っていたが、マンパワーの問題が生じたため日本サイコオンコロジー学会会員を対象にピア・サポーター養成研修開催支援協力メンバーを募集し18名を採用した (委員会名簿 ピア・サポート養成研修ワーキンググループ協力メンバーに表示)。将来的に各都道府県は独自に地元の講師で研修会開催できることを想定し、本事業からの講師派遣は一時的な事業であると考えため、特段の講師養成プログラム開発は行わず、各地で開催される研修の見学と実践、すでに開発された講義動画視聴を通じて講義、ファシリテートについて研修した。2024年6月11日・21日にスタートアップミーティングを実施、2025年2月4日に活動状況を踏まえた振り返りの情報交換を行った。

5. フォローアップ研修開催マニュアルの開発

すでにピア・サポーター養成研修を行っている都道府県において、ピア・サポーターの継続学習、相互交流を目的としてフォローアップ研修の要請が増加した。養成研修では重点的にとりあつかっていない患者サロン運営を中心としたプログラム案、開催マニュアルを開発した。

フォローアップ研修プログラム一覧

◆講義 (がん医療などについて)

- ◆ロールプレイ（模擬患者を用いた相談対応）
- ◆事例検討（事例を取り上げグループで議論）
- ◆「自分の体験を語る」（テーマを決めて行う）
- ◆ピア・サポーター、行政・医療従事者の意見交換
- ◆講義（ピア・サポーターのストレスマネジメント）
- ◆模擬サロン基礎（サロンの進行を学ぶ）
- ◆模擬サロン応用（難しい状況の対応を学ぶ）

6. ピア・サポーター養成研修スライドの改定

初版開発時から状況が変化している「がん診療の基礎知識と情報提供」を中心に、研修スライド全体の見直し、修正を行った。

C. 考察

各都道府県の要請により、昨年までに開発されたピア・サポーター養成テキスト、プログラム、オンライン版プログラム、フォローアップ研修プログラムに基づき研修会を実施した。

新型コロナウイルス感染症流行後、対面でのピア・サポートも再開されつつあるが、ピア・サポートプログラム開催支援の要請は昨年同様なかった。開催まで至れているピア・サポートについて支援ニーズは少ない可能性がある。

15都府県でピア・サポーター養成、4県でフォローアップ研修を行い、支障なく運営できた。がん治療環境の変化などから、一部スライド修正の必要性が認識され、スライド改訂作業に反映された。

昨年までと異なり、新型コロナウイルス感染症流行により停止していたピア・サポート活動が再開さ

れている施設が多かった。ピア・サポーター養成を継続し、病院でのピア・サポート活動が実践できている都道府県では、次のプログラムとしてフォローアップ研修のニーズがあった。

一方、ピア・サポーター養成を始めようとしている地域、始めたばかりの地域では、病院と行政で方針の共有ができていない、ピア・サポーターの運用方針が定まっていないなどの問題が認められた。各地の研修参加者との意見交換から、その背景として経験の浅い行政担当者が病院の状況やピア・サポーターについて理解していない、行政と病院でピア・サポートに関する方針を議論・共有する場がない、養成のみ行い行政としてピア・サポートの運用について計画していない、病院内で意思決定できるものが議論に参加していない、病院幹部がピア・サポートを自院で行う意義を理解していないなどが問題として考えられた。

ピア・サポーター養成研修協力メンバーとして、医師、心理士、看護師、ソーシャルワーカー、薬剤師など多職種からなるメンバーが新たに参加した。今後、全国での研修会開催での協力が期待される。一方で、がん体験者としての養成研修協力メンバーは登録されなかった。一定の研修を受けている前提の医療者と異なり、がん体験者の研修協力者は、実際の講義、ファシリテート能力をみたくて採用する必要がある、今後各地で開催された研修会での実績を踏まえてメンバーを増やすことを検討している。

表3 ピア・サポーター養成研修会の支援 ※徳島県、長崎県は養成研修会とフォローアップ研修会を兼ねて実施

ピア・サポーター養成研修会						
都道府県	日時、開催場所	受講者・協力者	人数	備考	形式	
1 埼玉県	令和6年 7月23日・7月27日 埼玉会館	がん体験者 行政 医療従事者 委託事業から協力	22名 2名 4名 8名 合計 36名	研修運営 1日目3名、2日目1名（見学、病院での活動紹介） 2日間の合計人数。講師・ロールプレイのファシリテーターとして協力	対面2日間	
2 神奈川県	8月17日・8月18日 神奈川県民ホール	がん体験者 行政 医療従事者 委託事業から協力	31名 1名 23名 8名 合計 63名	研修運営 1日目18名、2日目5名 2日間の合計人数。講師・ロールプレイのファシリテーターとして協力	対面2日間	
3 大阪府 【第1回】	11月16日・11月17日 大阪国際がんセンター	がん体験者 医療従事者 行政 研修事務局 委託事業から協力	24名 4名 1名 2名 1名 合計 32名	講義・ファシリテーターとして協力 大阪府がん患者サポートセンター 11/16のみ講師として協力	対面2日間	
4 香川県	11月18日 香川県庁	がん体験者 医療従事者 行政 委託事業から協力	11名 6名 4名 3名 合計 24名	うち3名ファシリテーターとして協力 講師・ロールプレイのファシリテーターとして協力	事前の動画視聴＋ 対面1日間	
5 奈良県	12月5日・12月6日 橿原総合庁舎	がん体験者 医療従事者 行政 委託事業から協力	12名 6名 3名 2名 合計 23名	2日目のみロールプレイのファシリテーターとして協力 研修運営 講師・ロールプレイのファシリテーターとして協力	対面2日間	

	都道府県	日時、開催場所	受講者・協力者	人数	備考	形式
6 ※	徳島県	12月7日 徳島大学病院 日垂メデイカルホール	がん体験者 医療従事者 行政 委託事業から協力	16名 3名 3名 3名 25名	新規養成7名、フォローアップ9名 研修運営 講師・ロールプレイのファシリテーターとして協力	事前の動画視聴＋ 対面1日間
7 ※	長崎県	12月15日 長崎県庁	がん体験者 医療従事者 行政 委託事業から協力	15名 10名 5名 2名 32名	新規養成者7名、フォローアップ12名 見学・ロールプレイのファシリテーターとして協力 研修運営、交流会の進行 講師・ロールプレイのファシリテーターとして協力	事前の動画視聴＋ 対面1日間
8	東京都 【第1回】	12月21日・12月22日 都立駒込病院	がん体験者 医療従事者 行政 研修事務局(運営) 委託事業から協力	20名 3名 2名 3名 6名 34名	1日目 1名、2日目2名 (見学) 1日目 1名、2日目2名 (見学) 東京都がんピアサポーター養成研修事務局 2日間の延べ人数。講師・ロールプレイのファシリテーターとして協力	対面2日間
9	山口県	令和7年 1月11日 山口県健康づくりセンター	がん体験者 医療従事者 行政 委託事業から協力	19名 11名 1名 3名 34名		対面1日間
10	茨城県	1月14日 茨城県庁	がん体験者 委託事業から協力	12名 1名 13名		事前の動画視聴＋ 対面1日間

	都道府県	日時、開催場所	受講者・協力者	人数	備考	形式
11	東京都 【第2回】	2月1日・2月2日 me:rise 立川	がん体験者 医療従事者 行政 研修事務局(運営) 委託事業から協力	19名 5名 3名 6名 4名 合計 37名	見学・ロールプレイのファシリテーターとして協力 東京都がんピアサポーター養成研修事務局 2日間の延べ人数。講師・ロールプレイのファシリテーターとして協力	対面2日間
12	大阪府 【第2回】	2月15日・2月16日 SMGアクセア貸会議室	がん体験者 医療従事者 行政 研修事務局 委託事業から協力	18名 5名 1名 2名 1名 合計 27名	講義・ロールプレイのファシリテーターとして協力 大阪府がん患者サポートセンター 2/17のみ講師として協力	対面2日間
13	高知県	2月24日 高知県庁	がん体験者 医療従事者 行政 研修事務局 委託事業から協力	9名 4名 2名 3名 2名 合計 20名	がん相談センターこうち 講師・ロールプレイのファシリテーターとして協力	事前の動画視聴＋ 対面1日間
14	東京都 【第3回】	2月28日・3月1日 都立駒込病院	がん体験者 行政 医療従事者 研修事務局 委託事業から協力	18名 2名 8名 5名 4名 合計 37名	東京都がんピアサポーター養成研修事務局 講師・ロールプレイのファシリテーターとして協力	対面2日間
15	群馬県	3月10日・3月11日 群馬県庁	がん体験者 医療従事者 行政 委託事業から協力	19名 4名 2名 4名 合計 29名	(予定) (予定) (予定) 講師・ロールプレイのファシリテーターとして協力	対面2日間

表4 ピア・サポーターフォローアップ研修会の支援

フォローアップ研修会							
都道府県	日時・開催場所	受講者・協力者	人数	備考・役割等	形式	主なプログラム	
1 埼玉県 【第1回】	令和6年 11月26日 埼玉会館	がん体験者 医療従事者 行政 委託事業から協力	29名 4名 2名 2名 合計 37名	見学兼ファシリテーターとして協力 研修運営、交流会・意見交換会進行	対面1日	・ピア・サポーター基本知識振り返り ・ピア・サポーターのストレスマネジメント ・模擬サロン ・ピア・サポーター交流会、医療者間の意見交換会	
2 埼玉県 【第2回】	令和7年 1月21日 埼玉会館	がん体験者 医療従事者 行政 委託事業から協力	16名 4名 2名 3名 合計 25名	見学兼ファシリテーターとして協力 研修運営、交流会・意見交換会進行	対面1日	・ピア・サポーター基本知識振り返り ・ピア・サポーターのストレスマネジメント ・模擬サロン ・ピア・サポーター交流会、医療者間の意見交換会	
3 奈良県	1月29日 橿原総合庁舎	がん体験者 行政 委託事業から協力	9名 4名 2名 合計 15名		対面1日	・ピア・サポーター基本知識振り返り ・ピア・サポーターのストレスマネジメント ・自分の体験を語る ・模擬サロン	
4 栃木県	2月16日 マロニエプラザ	がん体験者 行政 委託事業から協力	8名 2名 2名 合計 12名		対面半日	・ピア・サポーター基本知識振り返り ・ピア・サポーターのストレスマネジメント ・模擬サロン	
5 香川県	3月12日 香川県庁	がん体験者 医療従事者 行政 委託事業から協力	14名 8名 2名 2名 合計 26名	(予定) (予定) (予定) (予定)	対面半日	・ピア・サポーター基本知識振り返り ・ピア・サポーターと医療従事者の意見交換会 ・模擬サロン	

ピア養成研修ワーキンググループ 会議記録

第1回WG会議

日時：2024年7月30日(火)

形式：オンライン開催

議事：

- (1) 本年度の事業方針について
- (2) ピア養成研修ワーキンググループ協力メンバーとの協力体制について

第2回WG会議

日時：2025年2月4日(火)

形式：オンライン開催

議事：

- (1) 講義スライドの改訂について
- (2) フォローアップ研修会開催マニュアルのアップデートについて
- (3) ピア養成研修ワーキンググループ協力メンバーとの意見交換

協力メンバーとのスタートアップミーティング

日時：2024年6月11日(火)・21日(金)

形式：オンライン開催

議事：

- (1) メンバーの自己紹介
- (2) 「がん総合相談に携わる者に対する研修事業」の事業背景の紹介
- (3) 意見交換